

ZENRIN

証券コード：9474

2017年3月期 第3四半期決算

2017年1月30日

株式会社ゼンリン

1. 2017年3月期 第3四半期決算概要
2. 2017年3月期 通期業績予想
3. Appendix

注)本資料には、本資料作成日時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競争状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。

尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。

また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

1. 2017年3月期 第3四半期決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 売上高・利益の推移
- 3) 営業利益増減要因
- 4) セグメント情報
- 5) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高

2017年3月期 第3四半期決算のポイント

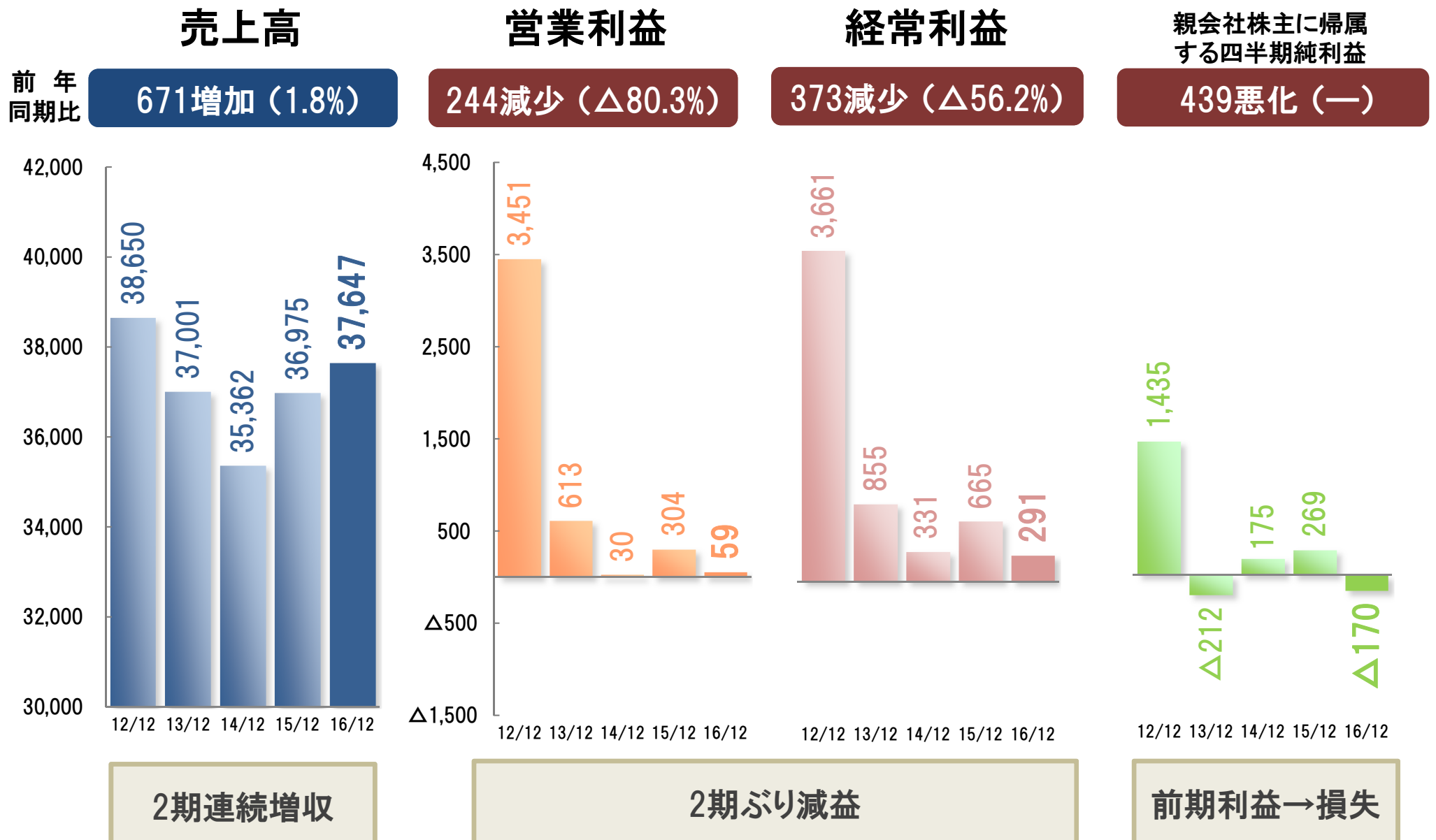
- 自治体からの受託案件の売上などは減少したものの、国内カーナビゲーション用データの販売や住宅地図データベースを活用したGIS関連の売上は堅調に推移
- 売上高は2期連続増収、一般管理費及び時空間情報システムの償却費等の増加により営業利益、経常利益は2期ぶり減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は3期ぶりに悪化

(金額単位:百万円)

	2016年3月期 Q3実績	2017年3月期 Q3実績	前年同期比	増減率(%)
売上高	36,975	37,647	671	1.8
営業費用	36,671	37,587	915	2.5
営業利益	304	59	△244	△80.3
営業利益率	0.8%	0.2%	△0.6Pt	
経常利益	665	291	△373	△56.2
親会社株主に帰属 する四半期純利益	269	△170	△439	—

1-2)売上高・利益の推移

(金額単位:百万円)



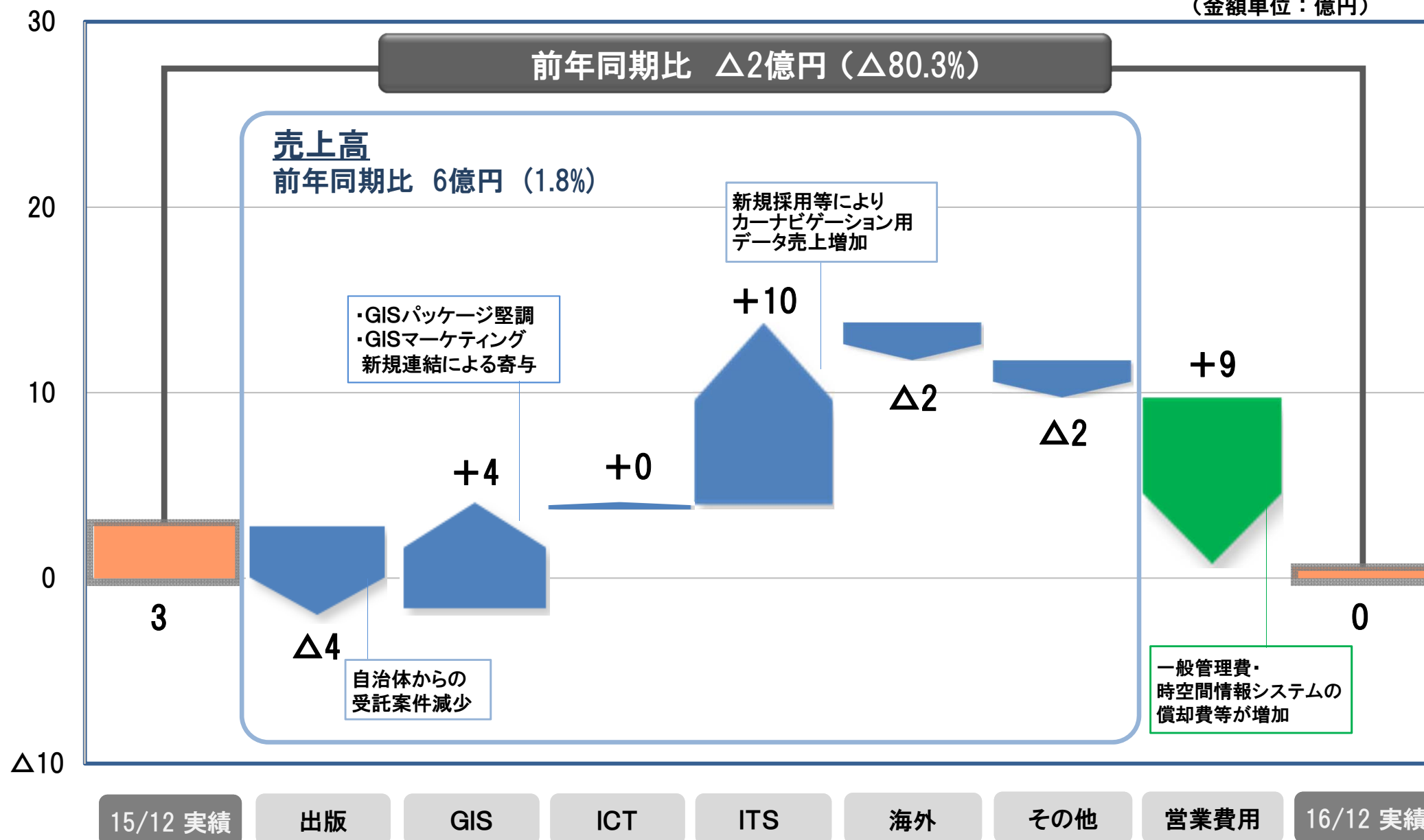
1-3)営業利益増減要因(前年同期比)

ZENRIN

Maps to the Future

2017年3月期 第3四半期決算

(金額単位：億円)



売上構成
比率

83.1%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース
国内外カーナビ用地図データ
スマートフォン向けサービス
各種メディア・デバイスへの地図情報提供など



6.9%

2. 一般印刷関連事業

主要品目等：商業印刷



10.0%

3. その他

主要品目等：仕入商品、デジタルサイネージ、
ダイレクトメール発送代行、インシップ広告



1-4)地図データベース関連事業

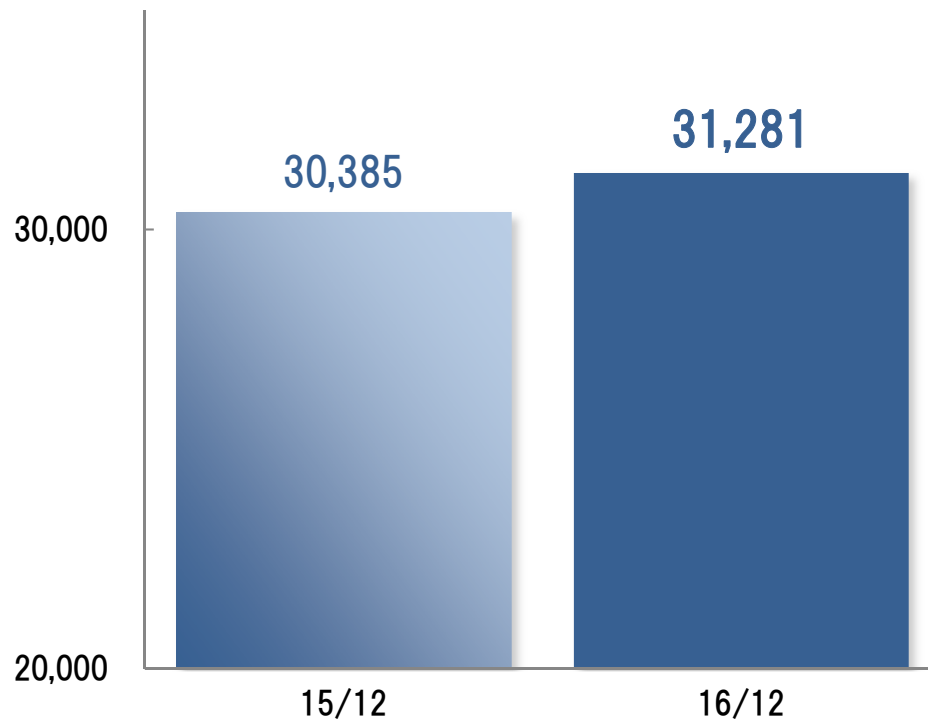
2017年3月期 第3四半期決算

(金額単位:百万円)

売上高

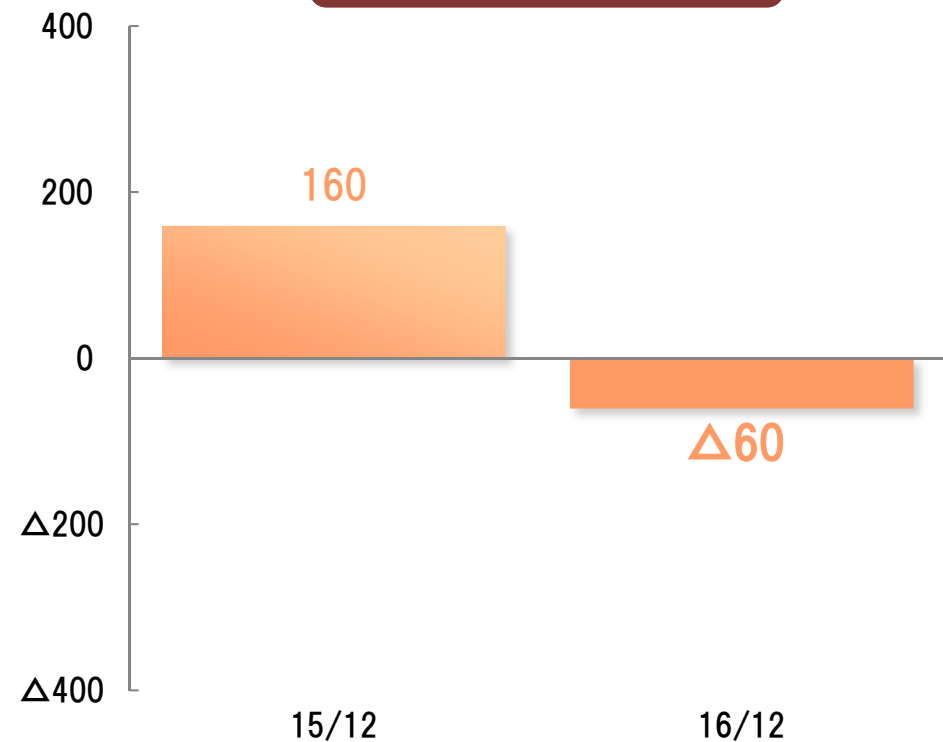
前 年
同期比

895増加 (2.9%)



営業利益

220悪化 (一)



- 国内カーナビゲーション用データの販売や住宅地図データベースを活用したGIS関連の売上は堅調に推移
- 人件費など一般管理費の増加に加え、時空間情報システムの償却費などが増加

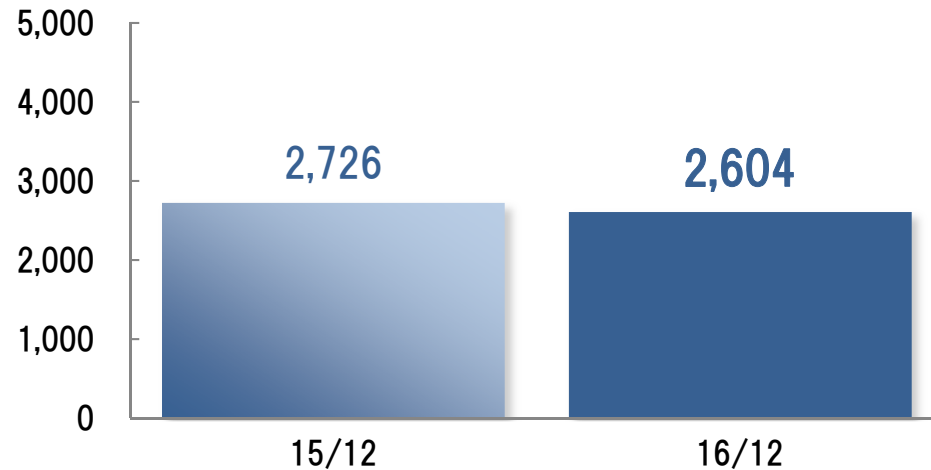
1-4)一般印刷関連事業・その他

2017年3月期 第3四半期決算

売上高

前 年
同期比

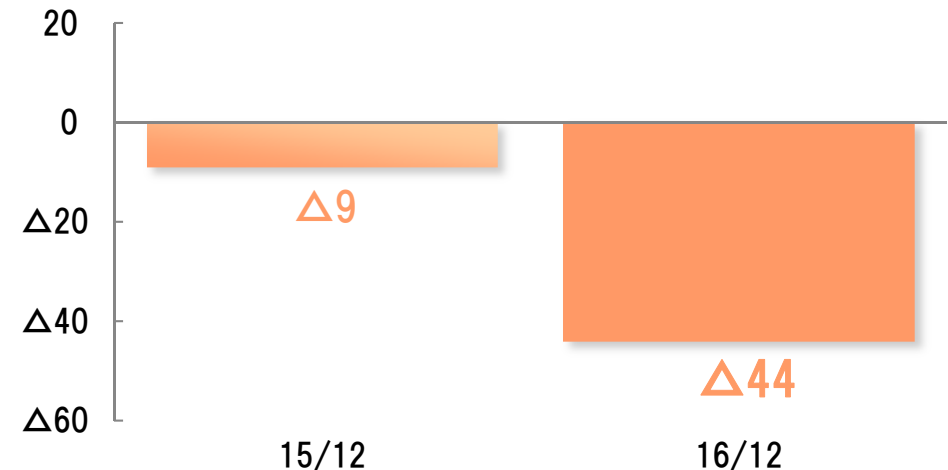
122減少 (△4.5%)



営業利益

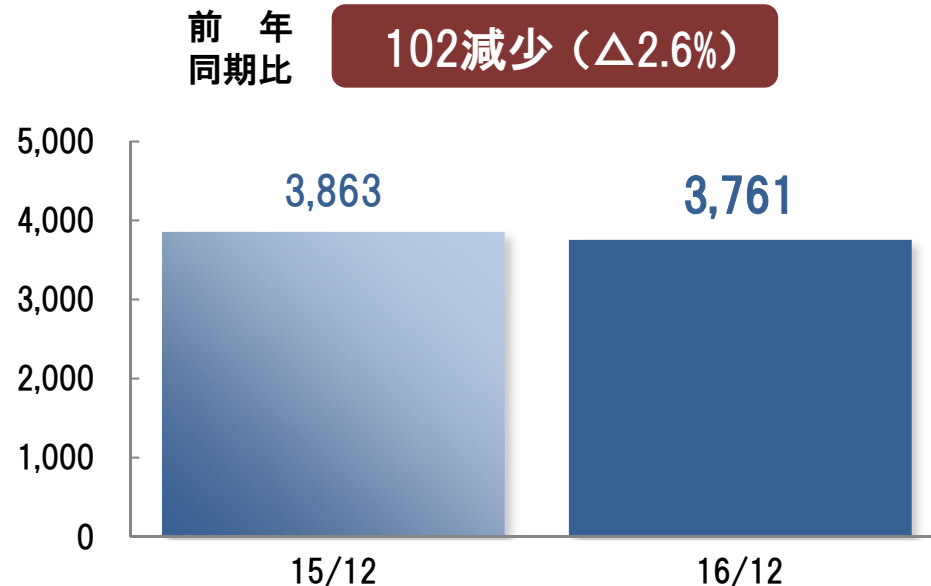
(金額単位:百万円)

34悪化 (一)

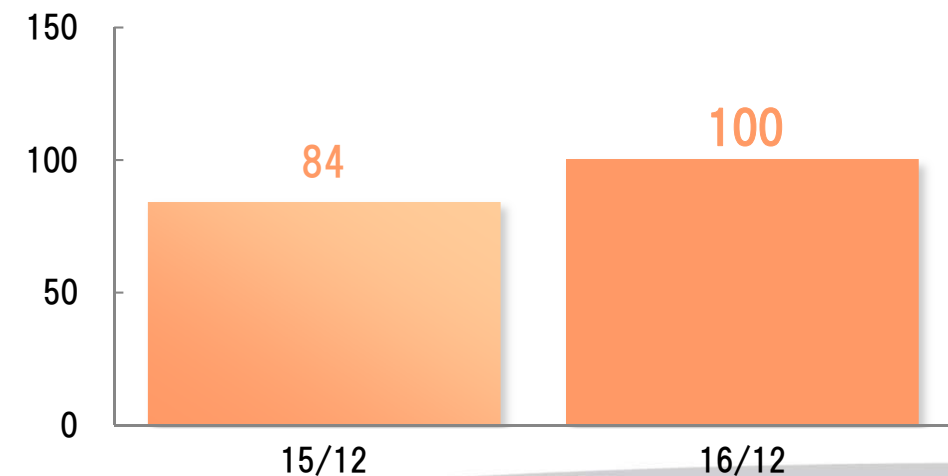


一般印刷関連事業

102減少 (△2.6%)



15増加 (18.4%)

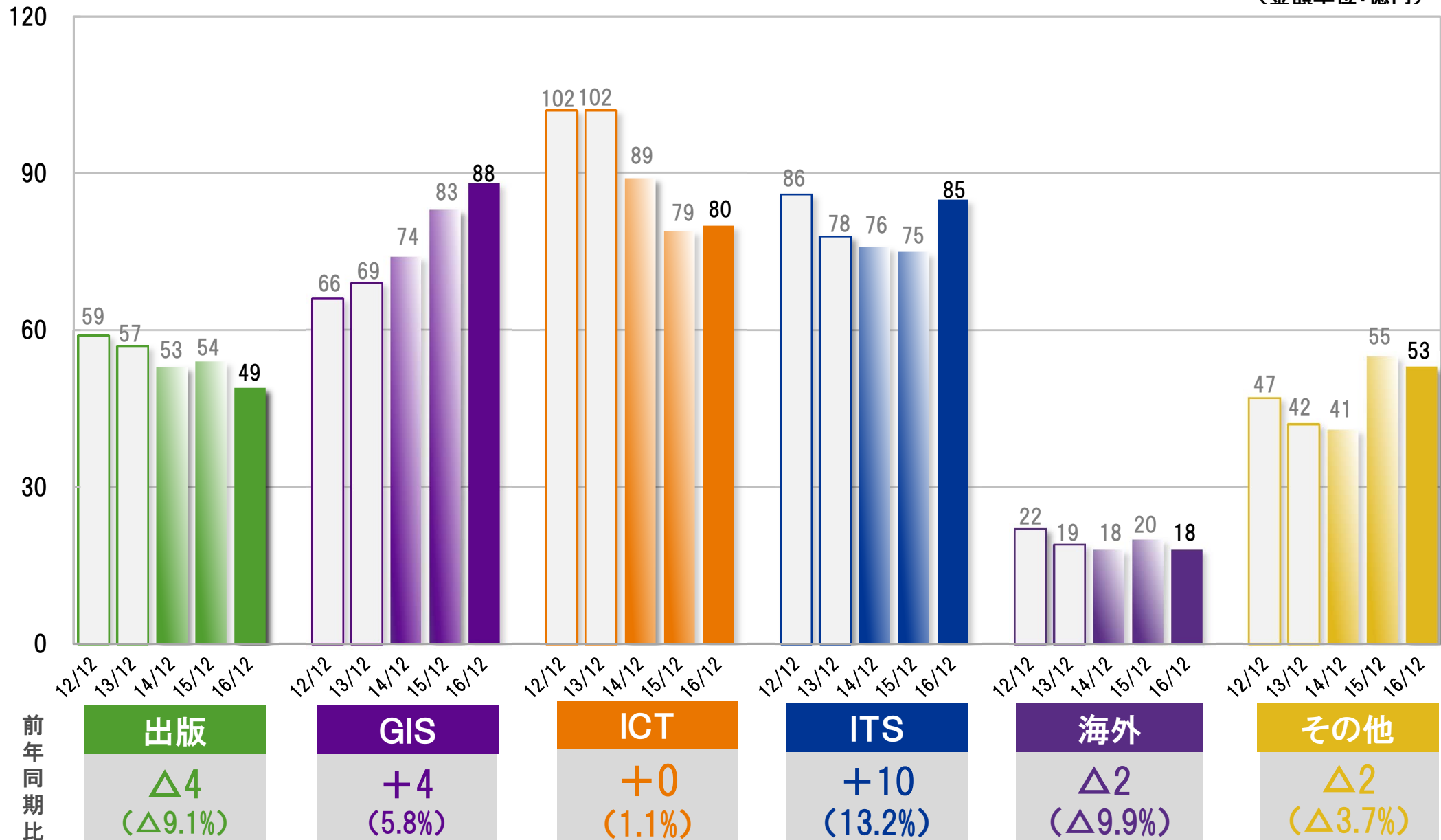


その他

1-5)中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高

2017年3月期 第3四半期決算

(金額単位:億円)



※2012年12月期～2013年12月期(白抜き棒グラフ)はZGP2015の事業区分で集計した売上高

2. 2017年3月期 通期業績予想

- 1) 通期業績予想
(5月9日公表値から変更なし)
- 2) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高
- 3) 四半期売上高構成比推移
- 4) 配当金

2-1)通期業績予想

2017年3月期 通期業績予想について

現段階において概ね計画通りに推移していることから、2016年5月9日に公表した通期業績予想を据え置く

前期比<増収増益>

■GIS事業による収益確保

■生産性改革による固定費率の低減

■時空間情報システムの安定運用と商品開発

(金額単位:百万円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想	前期比	増減率(%)
売上高	54,970	57,000	2,029	3.7
営業費用	51,931	53,600	1,668	3.2
営業利益	3,038	3,400	361	11.9
営業利益率	5.5%	6.0%	0.5pt	
経常利益	3,427	3,700	272	7.9
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,610	2,200	589	36.6

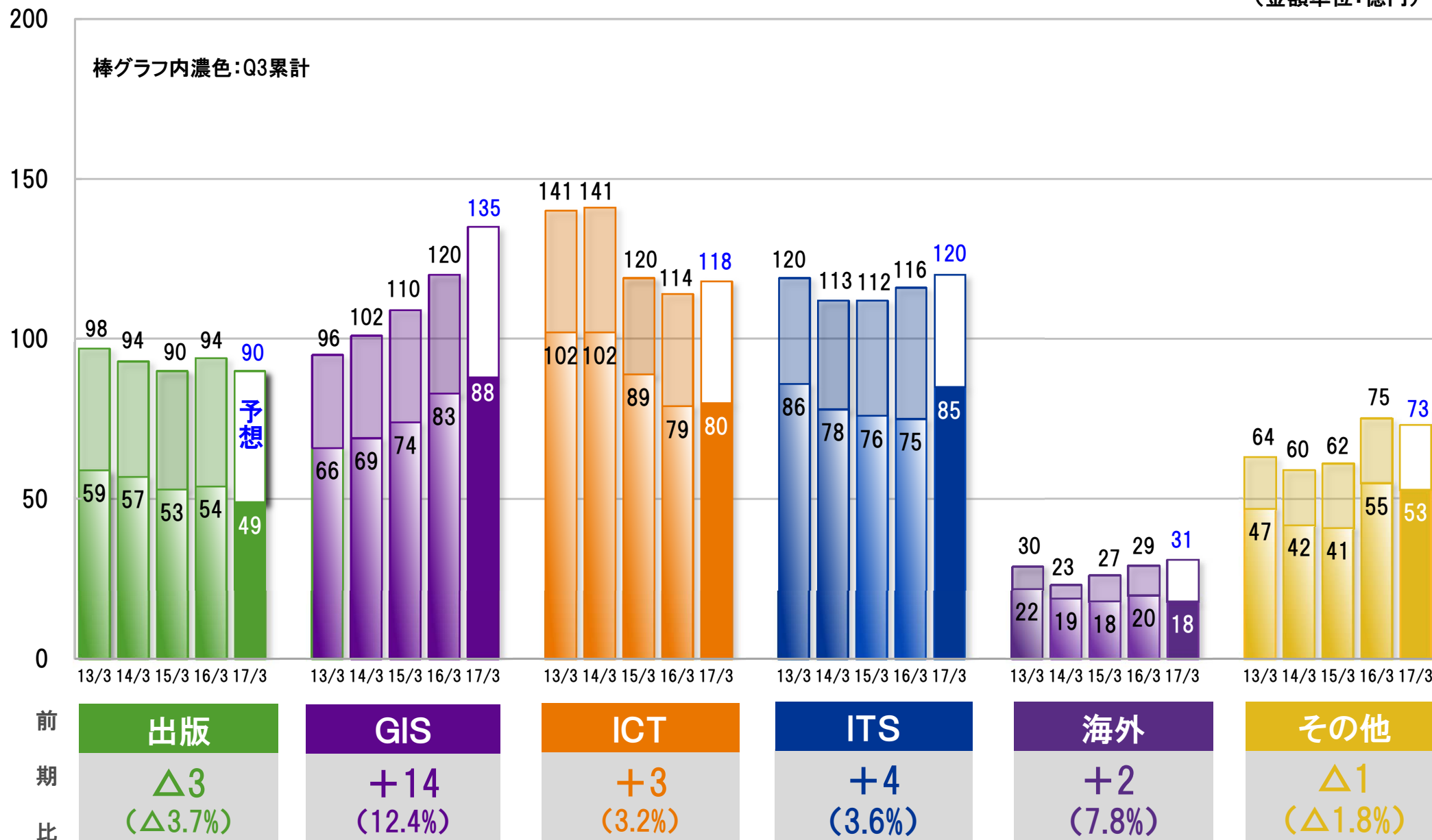
2-2)中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高

ZENRIN

Maps to the Future

2017年3月期 第3四半期決算

(金額単位:億円)

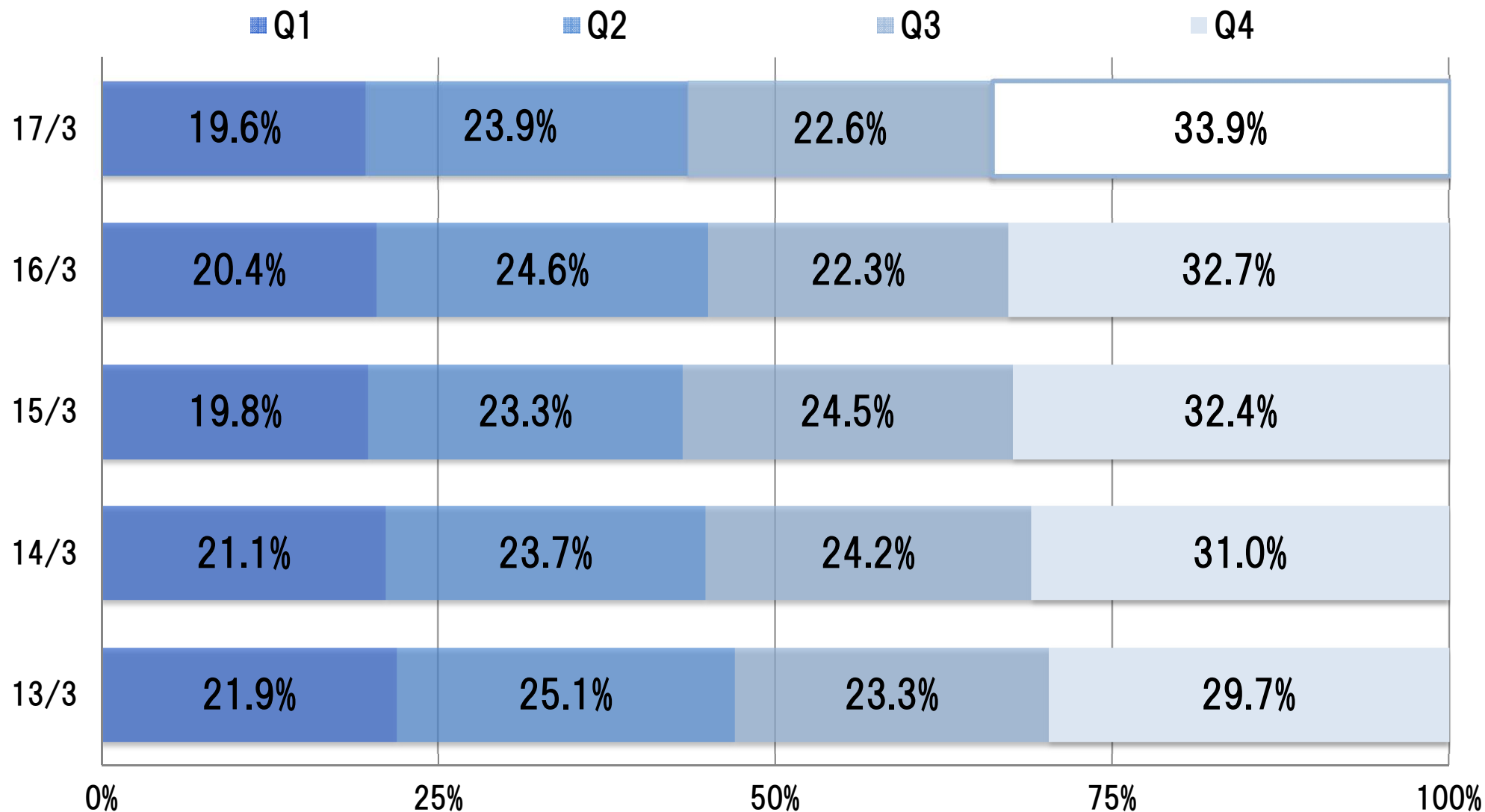


2-3)四半期売上高構成比推移

ZENRIN

Maps to the Future

2017年3月期 第3四半期決算

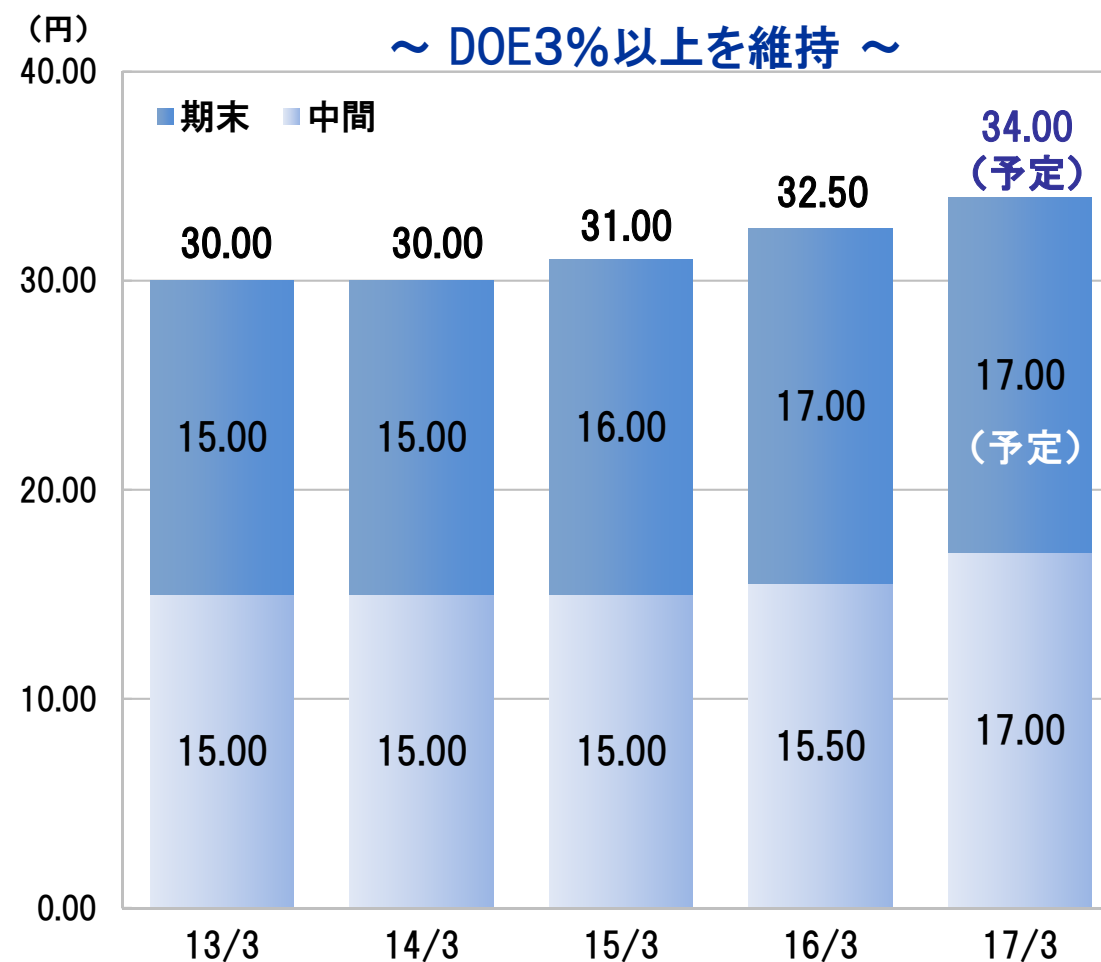


2-4)配当金

基本方針

適正な内部留保を考慮しつつ、中長期経営計画における利益成長に基づいた利益還元を実施
連結株主資本配当率(DOE)3%以上を目標

2017年3月期配当金（前期比）	
中間	17円00銭（+1円50銭）
期末（予定）	17円00銭（± 0円）
年間（予定）	34円00銭（+1円50銭）



3. Appendix

- 1) 2017年3月期 第3四半期決算概要
設備投資額、減価償却費、研究開発費
- 2) 2017年3月期 通期業績予想(2016年3月期 決算説明会資料より)
売上高・利益の推移
設備投資額、減価償却費、研究開発費
- 3) 中長期経営計画(ZGP2020)(2015年5月8日発表より)
目標数値
事業別売上高
- 4) 事業トピック

3-1)第3四半期決算概要(設備投資額、減価償却費、研究開発費)

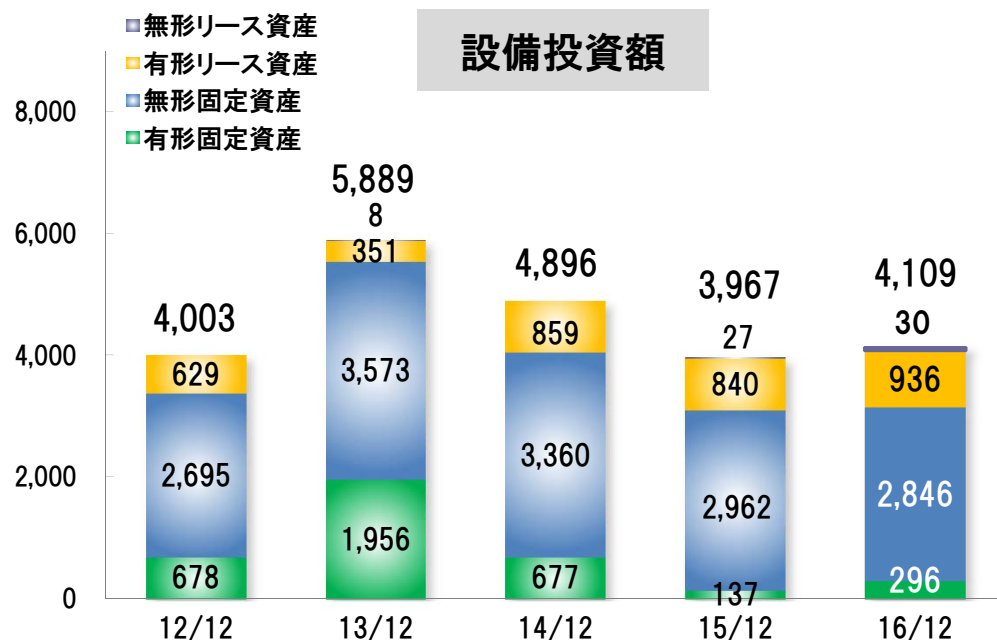
ZENRIN

Maps to the Future

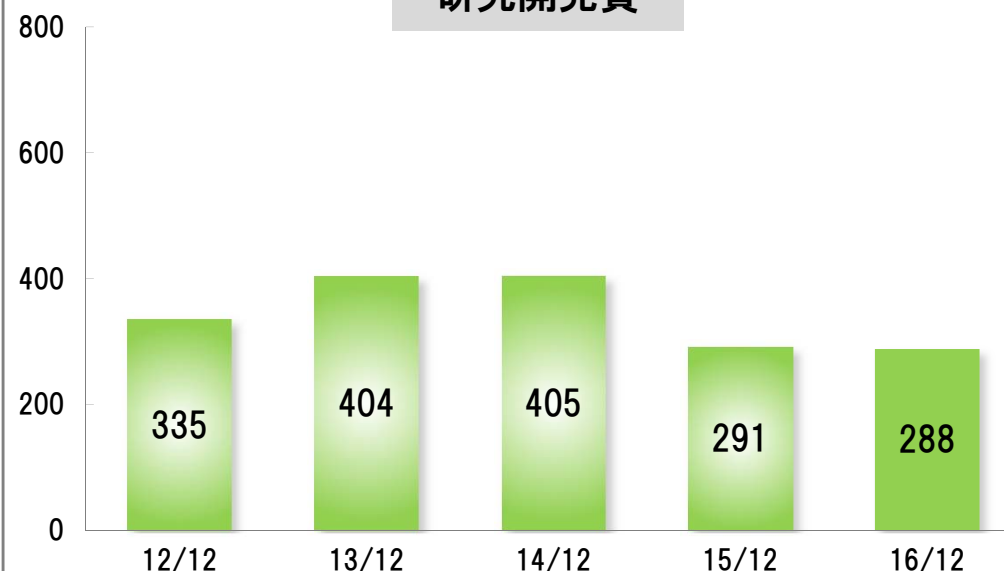
2017年3月期 第3四半期決算

(金額単位:百万円)

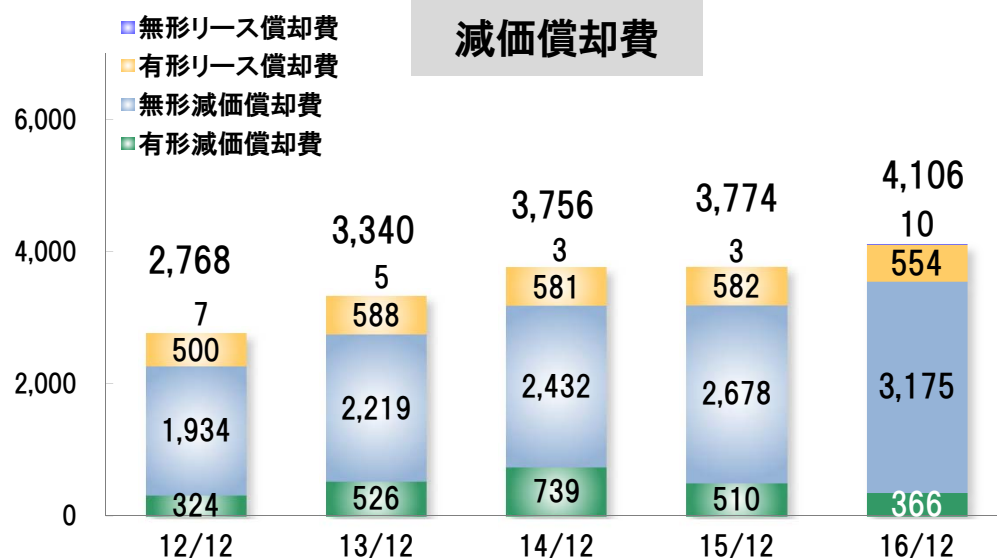
設備投資額



研究開発費



減価償却費



3-2) 通期業績予想(売上高・利益の推移)

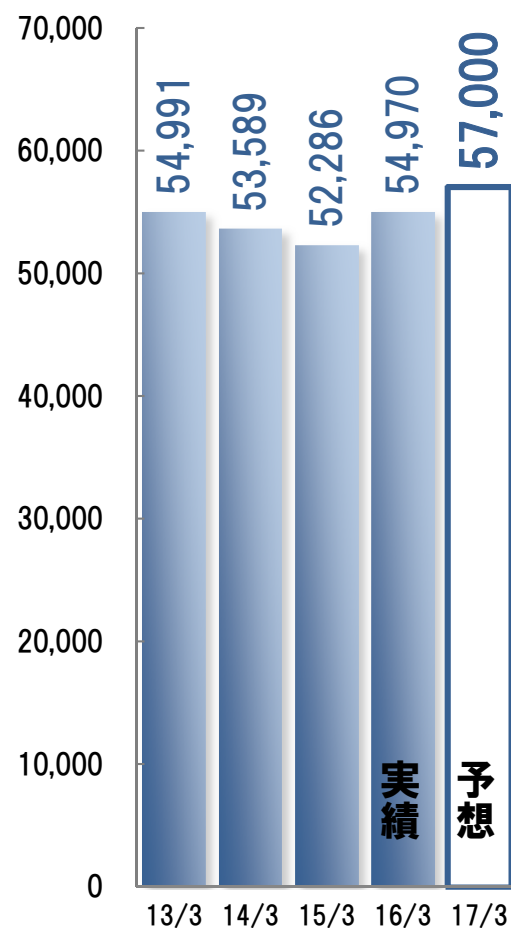
ZENRIN

Maps to the Future

2017年3月期 第3四半期決算

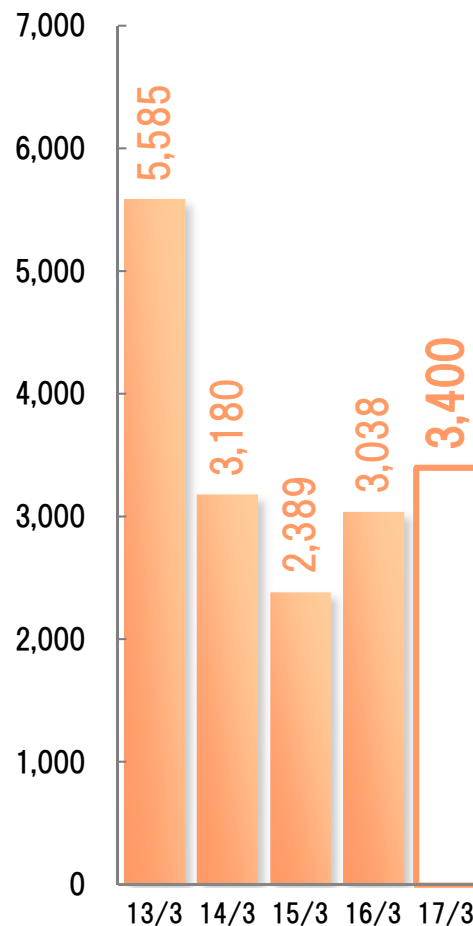
(金額単位:百万円)

売上高



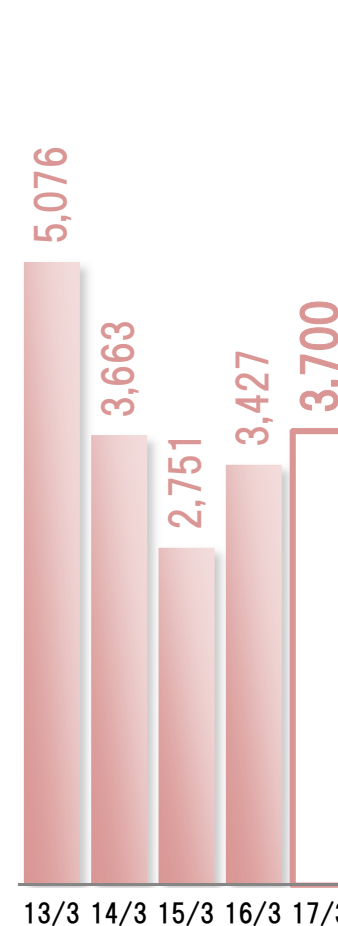
2期連続増収/過去最高

営業利益



2期連続増益

経常利益



親会社株主に帰属 する当期純利益



3期連続増益

3-2)通期業績予想(設備投資額、減価償却費、研究開発費)

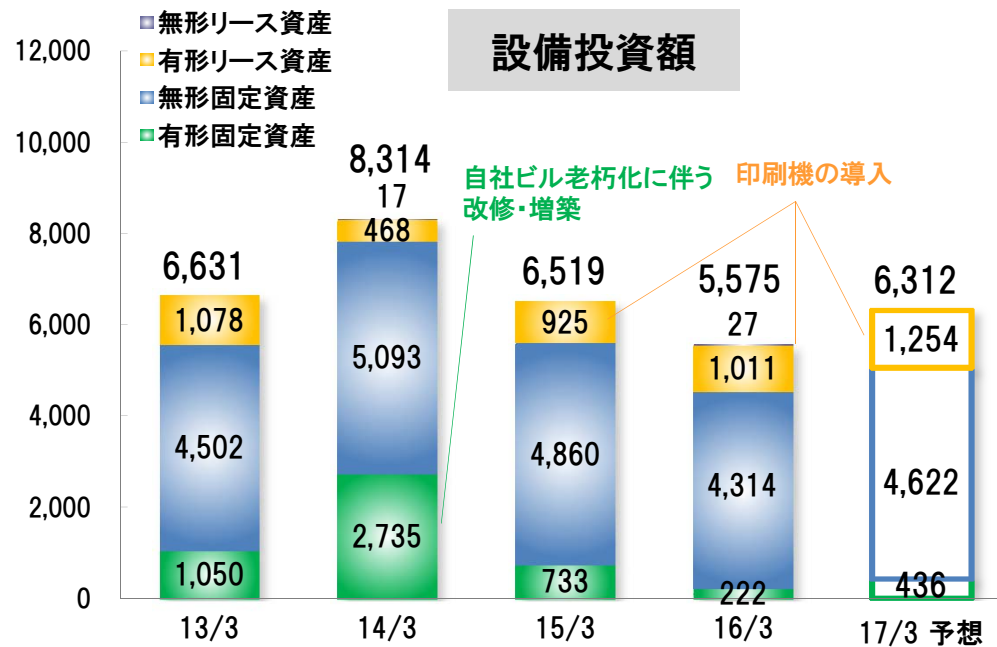
ZENRIN

Maps to the Future

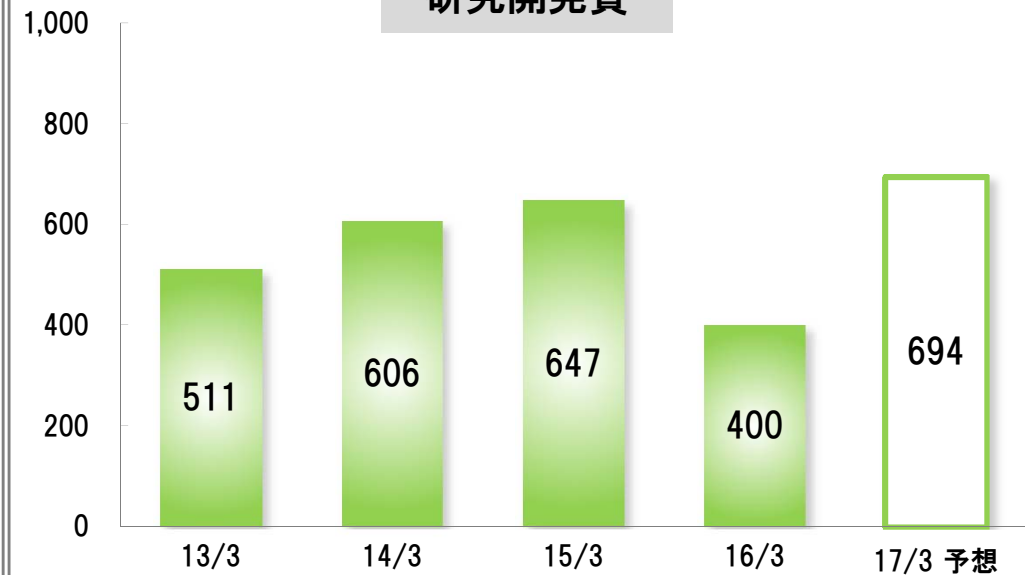
2017年3月期 第3四半期決算

(金額単位:百万円)

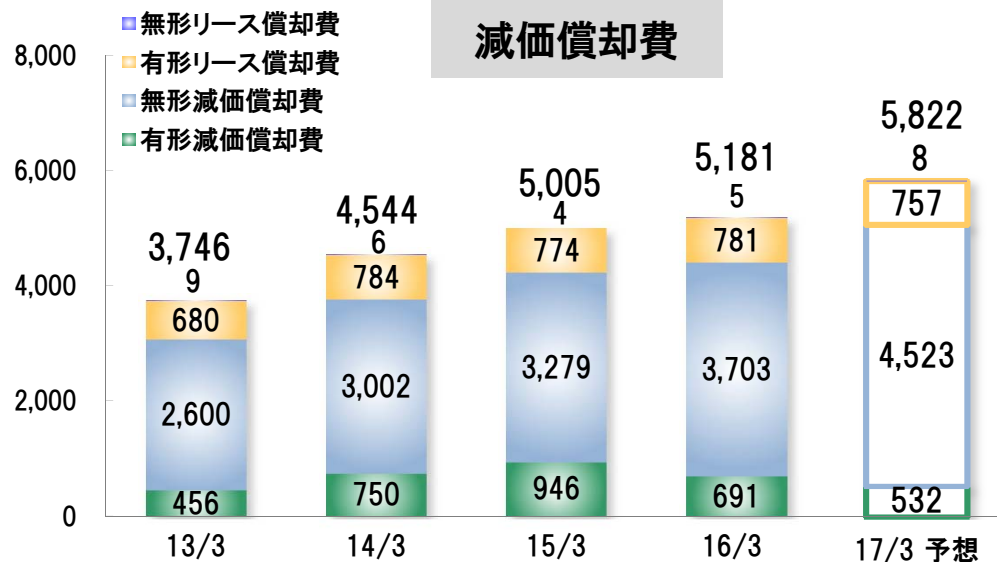
設備投資額



研究開発費



減価償却費



3-3)中長期経営計画(ZGP2020)目標数値(2015年5月8日発表より) **ZENRIN**

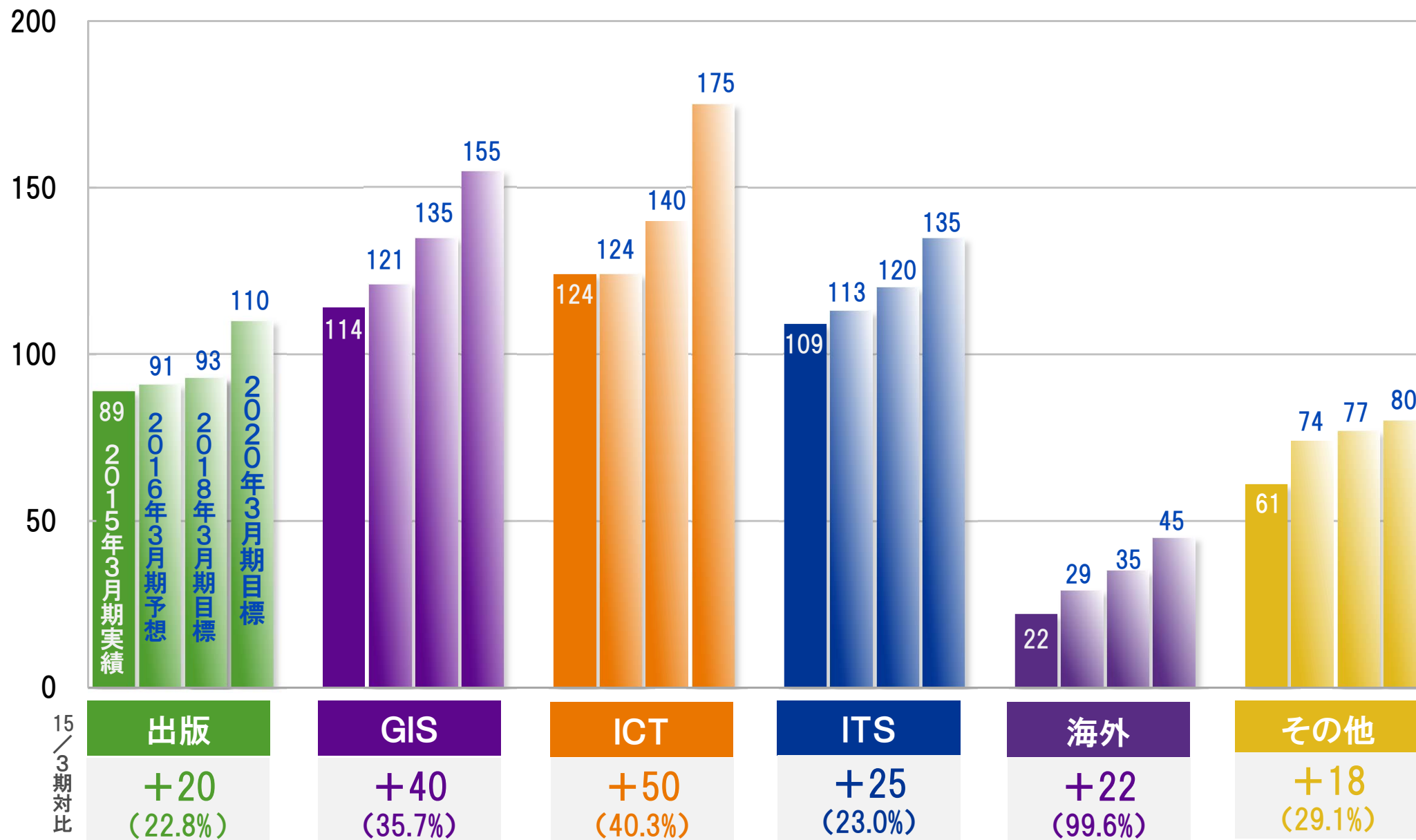
2017年3月期 第3四半期決算 *Maps to the Future*

	2015年3月期 実績	2016年3月期 予想	2018年3月期 目標	2020年3月期 目標
連結売上高	522億円	555億円	600億円	700億円
連結営業利益 (利益率)	23億円 (4.6%)	25億円 (4.5%)	50億円 (8.3%)	100億円 (14.2%)
ROE (自己資本当期純利益率)	3.9%	4%	8%	12%以上
DOE (連結株主資本配当率)	3.0%	3%以上	3%以上	3%以上

3-3)中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高(2015年5月8日発表より) ZENRIN

2017年3月期 第3四半期決算 Maps to the Future

(金額単位:億円)



※2015年3月期はZGP2015の事業区分で集計した売上高

3-4) 事業トピック

■位置属性データとドライバーの走行データを活用したカーナビシステム向けメディアサービスの共同開発開始 (2016年10月25日)

当社連結子会社(株)ゼンリンデータコムは(株)博報堂DYメディアパートナーズと位置属性データとドライバーの走行データを活用したカーナビシステム向けメディアサービスの共同開発を開始

ゼンリンデータコムが保有する位置属性データ
⇒ ドライバーの走行場所を特定可能

<共同開発>

位置属性データとドライバーの走行データを連携することで、ドライバーに対して有益な情報提供が可能

加えて、(株)博報堂DYホールディングス マーケティング・テクノロジー・センターが開発した、GPS、WiFi、iBeaconなどのセンサー情報や、過去の行動履歴等に基づいて配信情報を変更する等、屋外での情報配信に高い自由度と柔軟性を実現する

配信プラットフォームを活用することで、本メディアサービス開発が実現

<実証実験中>

ゼンリンデータコムが提供する「ゼンリンいつもNAVI[ドライブ]」を活用目的地へのナビゲーションだけでなく、ドライバーの位置情報や趣味嗜好に合わせた周辺のおすすめスポット・周辺店舗の広告配信および該当スポット・店舗等への誘導まで実施

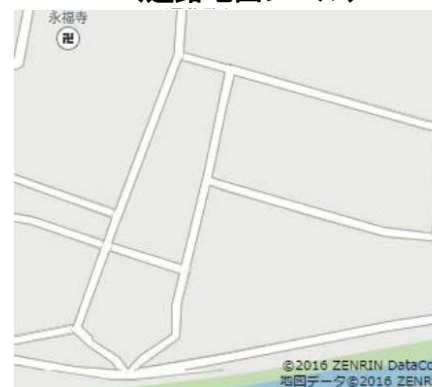
- ・ドライバー ⇒ アプリを通じ有益な情報を受取り可能
- ・広告主 ⇒ 従来のWebやアプリへのバナー出稿でない形で自社店舗への誘導可能

■「道路パトロール支援サービス」で住宅地図が利用可能に (2016年11月14日)

(株)富士通交通・道路データサービスが提供する「道路パトロール支援サービス※1」で、当社の住宅地図が利用可能に
2017年4月1日からは名称を「道路パトロール支援サービスゼンリン住宅地図対応機能オプション(仮称)」として販売開始予定

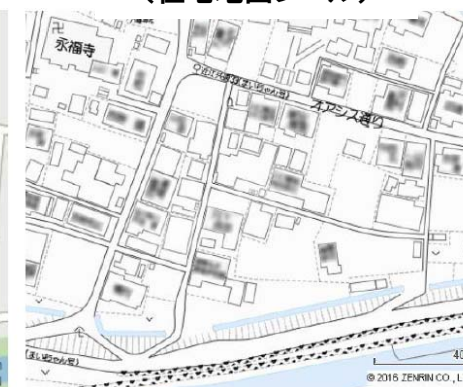
住宅の建物形状や表札情報まで表示される住宅地図のネット配信サービス※2を組み込むことで、道路管理者の業務効率化に貢献

(道路地図レベル)



※都市部については建物形状まで表示される「市街図」が閲覧可能

(住宅地図レベル)



※表札情報はぼかしております

※1 道路管理者の道路維持管理業務の効率化を目的としたサービスで当社の道路地図/市街図レベルのネット配信サービス「いつもNAVI API」を組み込んでおり、パソコンの画面の地図上で様々な情報確認が可能

※2 住宅地図ネット配信サービス「ZNET TOWN API」

3-4) 事業トピック

ZENRIN

Maps to the Future

2017年3月期 第3四半期決算

■「宿泊施設特化型」多言語デジタルサイネージ提供開始 (2016年12月7日)

急増する訪日外国人宿泊客に対し、外国語による周辺施設や観光施設などを外国人宿泊客が自ら情報を入手できる環境を提供
宿泊客の満足度向上と共にスタッフの対応業務低減をサポート

～試行導入～

サンシャインシティプリンスホテル、苗場プリンスホテル

<コンテンツ・機能>

①「多言語地図」

英語、中国語(繁体・簡体)、韓国語切り替え可能、日本語と併記

②「周辺案内」と「TAXI Card」

東京都内の人気観光スポット情報の閲覧

二次元バーコードを読み込むとスマートフォンに施設情報を転送
タクシー移動の際にドライバーに見せるだけで、目的地を伝達

③「乗換案内」

ホテルがよく案内する観光地の候補を予め表示

ボタンをタッチするだけで最寄り駅を発着地とした乗換案内を表示
二次元バーコードを読み込むことで、スマートフォンに情報を転送



(「周辺案内」と「TAXI Card」)

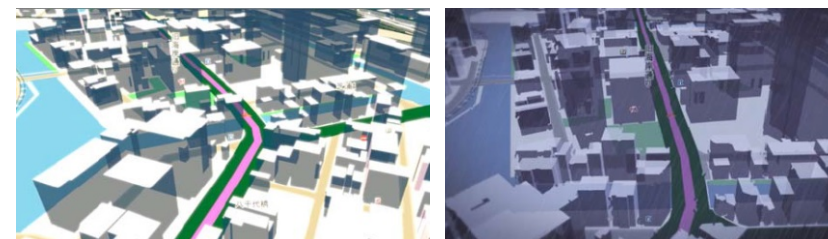
ICT

■位置情報ゲーム向け地図サービスの提供開始 (2016年12月8日)

当社連結子会社(株)ゼンリンデータコムは、位置情報ゲーム向け
地図サービスの提供を開始

位置情報ゲームで地図を利用する際に、従来のイラストなどによる
地図とは違い、ゲームの世界観を重視し現実の世界とマッチさせた
オリジナルデザインマップの提供が可能

- ・サービスの可用性を確保するクラウド環境も整備
- ・アクセスが集中した際も滞りなくサービスの利用が可能
- ・ゲームをはじめエンターテインメントサービスなど幅広く活用可能



晴れの日(左)、雨の日(右)のように天候に合わせて画面も変化

ゲームエリアを設定可能



特定エリアのみゲーム範囲外に設定する
など、位置情報ゲームのリスクに対応する
「ジオフェンス」機能を実装。

VR・ARサービス対応



ヘッドマウントディスプレイをはじめと
するVR・ARゲームにも対応。

Unity対応



スマートフォン向けゲームをはじめ多くの
開発者に支持されているUnityに対
応。

ICT

■KDDI・プロドローン・ゼンリン、モバイル通信ネットワークを活用したドローン事業で業務提携

(2016年12月19日)

当社は通信大手KDDI(株)、ドローン機体メーカーの(株)プロドローンと、ドローン事業において業務提携し、ドローンの運行管理基盤「スマートドローンプラットフォーム」の構想を発表

今回の業務提携は、様々な産業での活用が期待されるドローンが、安全・安心に自律飛行するための基盤を作る取り組みで、当社は“空の3次元地図”の研究開発を通じて本事業を推進

現在、ドローンの飛行には、無線やWiFiが利用されるため狭域での飛行が一般的

「スマートドローンプラットフォーム」は、KDDI(株)の携帯電話基地局ネットワークを活用することで広範囲な飛行を可能とし、当社の“空の3次元地図”、プロドローンの高機能ドローンを使用することで、ドローンが飛行可能な空域や正確な自己位置を認識しながら、目的地まで安全・安心に自律飛行する仕組みを目指す

今後「スマートドローンプラットフォーム」を活用し、設備検査や農業支援、災害救助などのソリューションや、撮影サービスなどのコンシューマサービス等を提供し、さまざまな分野でネットワークにつながるドローンが活躍する「スマートドローン構想」を推進



ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <http://www.zenrin.co.jp>
コーポレート本部 経営管理・IR部
IR問い合わせMail : zenrin-ir@zenrin.co.jp